

保健だより

特別号 奈良中学校 保健室 : R4.2.28

< 学校教育目標:「世界を小とせよ」奈良中生

知性をみがく生徒 愛情深き生徒 体を鍛える生徒 >

* 1学年性教育講演会「大人になっていく君たちへ～命の誕生する現場から～」*

令和4年2月18日(金)に熊谷市男女共同参画室のご協力の下、1学年を対象とした性教育講演会を行いました。講師は熊谷市大麻生にある中島助産院院長の中島桂子先生です。出産の現場で赤ちゃんを取り上げる立場から、「二次性徴」や「命の誕生」などのお話をいただきました。



講演会でのお話のポイントまとめてみました。

私たちは生きるために生まれてきました。「ヒト」は様々な経験を積んで、考えて、判断できるようになっていくのです。

人は弱い動物でもあります。人は一人では生きていけません。大好きな人や自分を認めてくれる人と会うことで、優しさを持ってたり、いたわったりすることができるのです。こうして、ここにいる皆さんも、必ず誰かのお世話を受けて、生きているのです。

大人になっていくにつれて、こころやからだが変化していきます。からだの変化は、男子も女子も新しい命を生み出す準備をしているということです。こころの変化としては、自分探しの途中にあつて気持ちが不安定になってしまうことがあります。時に人に反発をしてしまうこともあるかと思ひます。でもそれは、いけないことではありません。二次性徴を迎えるにあつて、あたり前なことなのです。また、皆さんは行動範囲も広がり、責任ある行動が求められるようになるのです。

人は一人ひとり違っていいのです。「こうであるべき」「失敗したくない」いろんな考え・個性があるけれど、自分自身であることが大切。しかし、人の心や体を傷つけることは、人としてやってはいけません。「性」を正しく理解して、あなた自身の心も身体も、相手の心も身体も傷つけないでください。

「わかる」と「同意」は違います。してはいけないことはいけない!という意味が大切です。ただ、自分で考えて決めたり、我慢したりすることも大切だけど、助けを求めていいのです。

その他にも、赤ちゃんの誕生に関する、温かいお話や悲しいお話をしてくださりました。皆さんには、自分も相手も大切にする気持ちをもってもらいたいと思ひます。困ったことがあつたら、ぜひ信頼できる人に相談をしてくださいね。

生徒の感想の一部を紹介します!

- 自分が今ここにいて生きていることや周りに友達や大人の人がいることは、奇跡ということが印象に残りました。親に対して反発的になってしまつて、反発的なことを言つた後に後悔することがあるけれど、それも成長の一つだと思つて、接していこうと思ひました。これからは、悩みがあつたら、信頼できる大人に相談しようと思ひます。
- 中島先生の話にあつた子宮頸がんのワクチンを受けて、予防していきたいです。
- 今日の話で私は早くに亡くなつてしまつてしまつた赤ちゃんのことが印象に残りました。自分が今生きているのは周りの人のおかげという意識をもちたいと思ひました。私は育ててくれている人に感謝しながら生きていきたいという気持ちを、話を聞きもてるようになりました。これからの生活の中で自分は大切にされて今ここに生きているということを意識して生活していきたいです。
- 自分で決めたり、我慢したりすることもあるけど、助けを求めたり、頼つたりすることも大切だということが印象に残りました。自分を育ててくれているお母さんやお父さんなどたくさんの人に感謝の気持ちをもちました。今後私は自分に自信をもって、何かあつたら家族や友達に相談できたらいいと思ひます。